

## 一流の人に学ぶ 自分の磨き方

校長 黒川 弘 教

児童たちは、運動会も終わり、11月に行われる音楽発表会に向けて練習に取り組んでいます。今、校舎には、毎日歌声や楽器の音が心地よく響いています。当日は、全校児童が気持ちをひとつにして演奏し、まとまりのある合唱や合奏が披露できることを期待しています

今回の学校便りは、前回に引き続き「一流の人に学ぶ 自分の磨き方」の本から抜粋して掲載します。なかなか一流にはなれないかも知れませんが、何か自分自身を向上させるために実行に移してもいいのではないかと思います。目標を定め、習慣を重視し、規律を重んじながら、自分自身で決めたことをやり抜くことで、自分自身に勝てるのではないのでしょうか。今色々なことに悩みをもっていると思いますが、今の自分にできることを習慣化し、毎日コツコツと実践することが自分自身を向上させることになると思います。頑張れ！！

## ○ 一流の人は限界に挑戦する

一流の人は大胆である。自分に大きな自信を持っているから、絶えず限界に挑戦する。

二流の人は他人の評価を気にするあまり、なかなか思い切ったことができない。

一流の人が限界に挑戦するのは、もう少し努力すれば勝利を収めることができると確信しているからだ。二流の人からすると押しが強すぎるように見えるが、一流の人はそれを成功のための代償の一部とみなしている。この小さな違いがたいへん大きな違いを生む。

## ○ 一流の人は自分に勝つことを考える

二流の人にとって勝利とは、他人に勝つことを意味する。

一流の人にとって勝利とは、昨日の自分を超越することを意味する。彼らは他人よりすぐれていたという欲求を超越し、自分をもっと磨くことに意識を向けている。

一流の人は「昨日よりも今日、今日よりも明日」という哲学で生きている。彼らにとって勝利とは、さらに人間として絶えず成長し進化を遂げることだ。

一流の人は勝利を内面の問題とみなす。だから他人に勝つことではなく、自分の中の最もいい部分を引き出すことに意識を向ける。

つまり勝利とは、今の自分を超越することなのだ。

## 運動会 ～暑さを力に変えて 心ひとつに チーム浅海～

9月24日(日)、公民館と合同の秋季大運動会が開催されました。子どもたちは練習の成果を発揮して競技も演技も最後まで頑張り、まさに“心ひとつに”になりました。そして保護者・地域の皆様の温かい応援と、準備や後片付けへのご協力、本当にありがとうございました。



## 気分はもう岡本太郎～校内造形会～



9月28日(木)に校内造形会が行われ、今年も各学年ごとに工夫した作品を作りました。10月の参観日には作品をご披露できると思います。お楽しみに！

## 校区別人権教育懇談会

10月21日(土)9:00～11:00、校区別人権教育懇談会を開催します。

今年、人権教育の授業公開と、えひめ紙芝居研究会のぼ～るの稲葉良恵さん、料理研究家・作曲家の中村和憲さんによる紙芝居と音楽の公演を行います。子どもや地域の方々と共に、人権教育について考えたいと思いますので、皆様、お誘い合わせの上、多数お越しください。

### ①ホームページを公開中！ 1日 **120アクセス**が目標です！ ぜひご覧ください！

毎日、新鮮な情報をお届けしています。「[浅海小学校 学校公式サイト](#)」で検索してください。

### ②アルミ缶回収を行っています！ 持ち込み缶が増加中！ ご協力ありがとうございます！

毎週木曜日に、環境福祉委員がアルミ缶回収を行っています。よろしくお願いたします。